

おほとものすくねやかもち
大伴宿禰家持の作る歌一首

一〇三五番

田跡川の 滝を清みか 古ゆ 宮仕へけむ 多芸
の野の上に

不破の行宮にして、大伴宿禰家持の作る歌一首

一〇三六番

関なくは 帰りにだにも うち行きて 妹が手枕
まきて寝ましを

十五年癸未の秋八月十六日に、内舎人
大伴宿禰家持、久邇の京を讀めて作る歌一首

一〇三七番

今造る 久邇の都は 山川の さやけき見れば
うべ知らすらし